

再生技術でモノづくりに新たな付加価値を提供 めっき屋ではなく、再生企業です

硬質クロムめっきを使用した金属加工部品の製造、及び摩耗した機械部品の修理・再生。単に再生するだけでなく、新しい価値を加え高品質な部品として蘇らせ、お客様が満足出来るものとして納品するを目的とする機械部品の再生企業として、国内外に販路を広げている。

特殊技法による硬質クロムめっきを使用し、特殊な機械部品や建設機械、自動車部品等様々な金属加工部品の製造、修理再生で、業界トップクラスの実績を持つ。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 福岡県久留米市津福本町1978-1 | ● 設立 | 1960年 |
| ● 電話/FAX | 0942-34-1387/0942-36-0520 | ● 資本金 | 1,000万円 |
| ● URL | http://www.toyokoka.com/index.html | ● 従業員数 | 80人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 小野賢太郎 | | |



需要獲得

グローバル市場にあった日本品質の再生技術で、海外に積極展開

同社は、国内の高度な技術を発展させることにより、日本のものづくりの発展に寄与することを目指している。また、日本品質のめっき技術を活かした再生技術をもって、更なる企業発展、海外進出を目指している。世界市場への取組みでは、海外人材活用やWebサイト多言語化を進めた結果、ウクライナの鉱山運営会社から露天掘り鉄鉱山で使用される大型掘削機械部品のめっきでの再生加工を受注し、最新鋭の設備で油圧機器の再生を行っている。また、台湾のバイク部品会社等と直接取引も実現している。



ウクライナからの受注に対応する生産設備

地域中小企業の経営力向上や、地域経済の活性化に大きく寄与

地域内の企業間連携として、2006年に近隣業種勉強会「中小製造業経営研究会CRAFT」を設立。定期的な情報交換、技術交流に加え、企業間連携によるBCP計画策定の検討も始める等、地域の中小企業の経営力強化に積極的に取り組んでいる。

また、環境課題と真摯に向き合い、社会・地球の持続可能な発展に繋がる「再生」、そして「SDGs」対応企業となるべく努力している。更に、当社の理念や技術力をベースに、国内外市場への進出を図っている。



「CRAFT」メンバーによる熱処理講習

企業間連携により顧客の課題を解決し、付加価値の高い製品を提供

同社は、アーカイオンプレーティングプロセス等の「先端的な再生+複合技術」で、新品以上の価値を提供する一方で、更なる付加価値向上を目指し、「中小製造業経営研究会CRAFT」参加企業と得意分野やコア技術等を共有し、共同で顧客の課題解決にも取り組んでいる。例えば、同社単独では対応が困難な依頼に対し、研究会のメンバーとともに製造方法の検討を行い、役割を分担して課題を解決し、共同受注によるコスト低減、及び納期短縮等、顧客満足度の向上、地域の需要拡大にも大きく貢献している。



機械部品への高硬度被膜作成品

ものづくり